

いしのまきNN通信

Nougyo Nouson



発行日 令和3年12月27日

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回発行しています。

掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。

今後ともよろしく申し上げます。

もくじ-Contents-

- 「西小松地区」安全祈願祭の開催 P.1
- 東日本大震災 復興植樹の実施, 江ノ浜レストランの開催 P.2
- 牡鹿地区 大谷川浜工区・奥松島地区 宮戸B工区の権利者会議の実施,
東松島市産桃・石巻産オリーブの収穫 P.3
- 「田んぼの学校」開催, SUPを活用した清掃活動の実施 P.4

農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業)「西小松地区」の安全祈願祭が開催されました



▲ 鍬入れの儀の様子

令和3年11月1日(月), 東松島市矢本西市民センターにて, 東松島市, 河南矢本土地改良区, JA, 地元関係者などの出席のもと, 農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業)「西小松地区」の安全祈願祭が, 実行委員会の主催で開催されました。

のりとそうじょう しほうばらえ

神事として, 祝詞奏上や四方祓の儀等の後, 東松島市長, 河南矢本土地改良区理事長等によって, 鎌・鍬・鋤による鍬入れの儀が執り行われました。そして, 玉串奉奠たまぐしほうてんなどを行い, 関係者一同で工事の安全を祈願しました。

その後, 東部地方振興事務所 小林所長, 宮城県議会 高橋宗也議員, 東松島市 渥美市長より挨拶を賜りました。

「西小松地区」は, 令和元年度に事業が採択されました。本年度の秋より区画整理工事を開始しており, 令和6年度の事業完了を予定しています。

本地区の受益面積は134.1haで, 1haを標準とするほ場の大区画化, 用水と排水の分離, 農道の拡幅といった整備を行います。また, 整備と併せて農地の集積や経営体の育成・支援, 高収益作物の導入を行うことによって, 効率的かつ安定的な農業経営を目指していきます。



▲ 東部地方振興事務所 小林所長より挨拶

東日本大震災復旧・復興植樹を行いました



▲ 植樹の様子



▲ 植えられた3本のクロマツ

令和3年11月1日(月)、石巻市大川地区にある^{ながつら}長面排水機場にて、東日本大震災復旧・復興植樹を行いました。

当部では、平成23年度からこれまでに地方自治法に基づいて、愛知県、兵庫県、三重県、佐賀県、徳島県、岡山県、島根県、神奈川県、香川県の計9県より、のべ244名(実人数177名)の職員の方々を派遣していただいております。

震災から10年の節目を迎えた今年、震災復旧にご協力いただいた派遣職員の皆さんへの感謝の気持ちを込めて、長面排水機場内にて、植樹を行うこととなりました。

当日は、北上川沿岸土地改良区 高橋理事長、農山漁村地域復興基盤総合整備事業 大川地区 三浦実行委員長御臨席のもと、石巻市・東松島市の市木であるクロマツを3本植樹しました。

また、同場所には、表に「東日本大震災復旧・復興 祈念植樹」、裏に「復旧・復興に従事した職員一同 令和3年11月」と記された標柱も設置されました。

宮戸地域背後農地利活用「Challenge in 宮戸」

「宮戸島 江ノ浜レストラン」が開催されました



▲ レストランの様子



▲ 「トマトのブリュレ」と「栗・さつまいもデザート」

令和3年10月22日(金)から24日(日)の3日間にかけて、東松島市奥松島地区宮戸にて「宮戸島 江ノ浜レストラン」が開催されました。

レストランは、昨年度より当地区で実施している背後農地利活用プロジェクト「Challenge in 宮戸」のワークショップの中で提案された企画であり、KIBOTCHA(運営:貴凛^{きりん}庁株式会社)、東松島市、そして地元関係者の方々と共に協働で取り組んできたものです。

アスパラガス、さつまいも、ミニトマトなどを作付けした宮戸のほ場を会場に、3日間にわたって、1日20食限定のランチが提供されました。

ランチのメニューとして、ほ場で栽培したミニトマトを使用した茶碗蒸しやブリュレ、さつまいもを使用したデザート、そしてじゃがいもを使用したポテトサラダなどが振る舞われました。

また、ゲストの皆さんを対象に会場までのトレッキングやほ場でのさつまいも掘り体験も行われ、盛況のうちにイベントは終了しました。

農山漁村地域復興基盤総合整備事業

大谷川浜工区，宮戸B工区の権利者会議が開催されました



▲ 大谷川浜工区



▲ 宮戸B工区

農山漁村地域復興基盤総合整備事業の実施に伴う権利者会議が牡鹿地区 大谷川浜工区（令和3年9月28日(火)），奥松島地区 宮戸B工区（令和3年10月8日(金)）で開催されました。

牡鹿地区 大谷川浜工区は，牡鹿半島鮫浦湾に面して農地が広がる地区でしたが，東日本大震災による地盤沈下と津波で大きな被害を受けました。本事業では，農地の原形復旧だけでなく，区画形状の拡大や用排水路の完全分離等を行うなど，生産基盤の整備を行いました。

また，奥松島地区 宮戸B工区は，東松島市の宮戸島の北部に位置しており，東日本大震災によって大きな被害を受けました。本事業によって，農地の復旧と併せて農地の大区画化，用排水路の整備等が行われ，農地の汎用耕地化や集団化が図られています。

両地区においては，工事前の土地区画（従前地）を工事後の土地区画（換地）に再編する換地計画が策定されたことから権利者会議が開催され，両地区とも換地計画が原案どおり可決されました。

奥松島で桃が収穫されました



◀ 収穫の様子
(令和3年8月18日(水))

東松島市の宮戸島では，「奥松島果樹生産組合 いちじくの里」が，東日本大震災で被害を受けた農地の復旧を契機として，もともと水田だったほ場を転作し，平成27年度より，桃やいちじくを栽培しています。

今年も7月から8月にかけて成長した桃が収穫されました。収穫した桃は，ほ場わきの直売所で販売されており，多くの人買い求めていました。

石巻産オリーブが収穫されました



◀ 収穫の様子
(令和3年10月25日(月))

石巻市北上（原）地区ほ場では，県営ほ場整備北上地区で整序化した用地で，市を事務局とする研究会が主体となってオリーブを栽培しています。

ここでは4種のオリーブが計900本定植されており，10月下旬よりその収穫が行われました。収穫量は年々増加しており，収穫したオリーブはオリーブ油等に加工し，販売しています。

「田んぼの学校」が開催されました



▲ 9月1日(水) 北上小 施設見学会



▲ 10月11日(月) 広瀨小 稲刈り

「田んぼの学校」は、小学生の皆さんに生き物調査や田植え・稲刈り体験などを通じて、農業・農村への理解を深めもらうために実施されます。この活動は、多面的機能支払交付金事業を実施している活動組織や管理体制整備推進協議会の啓発活動の一部として行われており、これらの組織と小学校が連携して活動を展開しています。

令和3年8月から10月にかけて、広瀨小学校5年生の皆さんが生き物調査と稲刈り体験、北上小学校3年生の皆さんが石巻市北上にある北上大堰や牧野巣揚水機場などの農業用水利施設の見学と稲刈り体験を行いました。

両校とも、今年の5月に田植え体験を行っており、今回の稲刈りと併せて、稲の成長を一年を通じて学習する貴重な機会となりました。

SUPを活用した農地海岸清掃活動を行いました



▲ 8月29日(日) チーム員とその家族



▲ 9月11日(土) 女性みのグループで参加

当NN部が管理する東松島市宮戸地域の農地海岸保全施設では東日本大震災からの復旧後、海洋レジャーの賑わいが戻り、海岸に漂着する海洋プラスチックごみ等が増え、その回収や処理が課題となっていました。

その対策の一環として、令和3年度に「東部NN海岸漂着物処理対策チーム」を結成。宮戸地域でSUP（スタンドアップパドルボード）の体験ツアーを実施している石巻市のサーフショップ「CARLSBAD」及び「奥松島SUP協会」と協働し、体験ツアーに清掃活動を組み入れる試みをスタート。令和2年度からこれまで一般県民を含め蛤浜海岸や唐戸島、寒風沢島の一部で計12回の清掃活動を実施。30%のゴミ袋で約140袋を収集、古タイヤや木竹の移動・集積を行いました。

この活動はSDGsの推進にも寄与することから、持続可能な活動として今後も継続していく予定です。女性スタッフもあり、女性みのグループも気軽に参加できますので、ぜひSUP体験と一緒に海岸清掃活動に参加してみたいかがでしょうか。



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部（編集：農村振興班）

〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地 （宮城県石巻合同庁舎4階）

Tel 0225(95)1411（内）2631

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>



▲ 部HP